

【市単独事業】 地方創生推進交付金事業「健康事業と観光の一体化による元気なまちづくり(R2~4年度)」 事業実施報告

※交付対象事業費の1/2の額を交付

令和2年度交付額	2,939,000円
令和3年度交付額	3,081,285円
令和4年度交付額	2,763,178円

【交付対象事業の概要】

健康増進に関心を持ってもらうため、企業認知度が高い「RIZAP」と連携した健康増進プログラム及びクアオルト事業を実施し、健康づくりを通じて元気なまちづくりにつなげる。
 若者や働き世代の特定保健指導の対象となる「健康無関心層」に対し、「RIZAP出張型集団肥満解消プログラム」を実施し、企業ブランド力により参加を促す。本プログラムにより体重の減少や中性脂肪の改善を目指し、自発的な健康づくりにつなげる。また、高齢者にも高齢者施設などにおいて健康事業を実施し、介護予防につなげる。
 また、クアオルト事業を実施し、観光と食とをパッケージにした滞在型観光メニューの創設により、交流人口の拡大と雇用拡大につなげる。この取組を医師会、薬剤師会、大学、企業、団体などで構成する「健康づくり推進協議会」において検証しながら、産官学連携による対象者の拡大や取組内容の充実に努める。

事業名	No.	KPIの名称	担当課	KPIの対象	策定当初	区分	R2年度 実数	R2年度までの進 捗・課題・解決策	R3年度 実数	R3年度までの進 捗・課題・解決策	R4年度 実数	KPI達成・未達成の 状況
健康事業と観光 の一体化による 元気なまちづく り	1	「RIZAP出張型集団 肥満解消プログラム」 参加者における目標 達成者数	市民健康課	関市	0人	目標	30人	参加者全員が、体重 の5%減の目標を 達成することがで きた。	42人	参加者のほとんど が、体重の5%減の 目標を達成するこ とができた。	50人	当初は目標を大幅に上回って いた申込みが年々鈍化し、参 加者の講座出席率も低下して いることから、意欲の高い市 民の参加が減少し、目標達成 数に影響していると考ええる。
						実績	43人		45人		32人	
	2	「RIZAP出張型集団 肥満解消プログラム」 参加者数	市民健康課	関市	0人	目標	40人	募集人員を上回る 応募があった。	45人	目標を上回る応募 があった。	50人	開始して3年目であり、広く周 知をしても新規の申込みが少 なかった。申込みのペースが 年々鈍化していることから も、意欲の高い市民の申込み が少なくなっていると考え る。
						実績	43人		47人		43人	
	3	クアオルトウオーキン グ参加者数	市民健康課	関市	0人	目標	50人	令和2年12月に オープニング式典 を開催した後、体験 会や他イベントとの コラボによるウオー キングを実施した。	250人	他のイベントとのコ ラボによるウオーキ ングを開催したこと で、目標を上回る多 くの参加者があっ た。	350人	令和4年度は、令和3年度参 加者より100人増加を目標と していたが、201人の参加に とどまった。平日開催と地域 会場開催の講座参加者が少な かったことが背景にある。
						実績	79人		263人		201人	
	4	国民健康保険被保険 者の特定検診受診率	保険年金課	関市	35.8%	目標	36.8%	新型コロナウイルス の感染拡大による 病院での検診の受 診控えが影響した と思われる。	37.3%	検診の重要性の周 知啓発により、新型 コロナウイルスの感 染拡大前の受診率 水準に戻りつつあ る。	33.3%	新型コロナウイルス感染症の 影響により低下した受診率は やや回復傾向にある。 令和4年度は、感染症が増加 した秋口と健診受診のコア シーズンが重なり、令和3年度 よりもやや減少したと考えら れる。
						実績	32.9%		35.3%		33.8%	

関市まち・ひと・しごと創生総合戦略(交付金事業一覧表)

(R5.3月末日時点)

【市単独事業】 地方創生推進交付金事業「応援の連鎖づくりによる起業支援と賑わいの創出(R3～5年度)」 事業実施報告

令和3年度交付額	4,828,032円
令和4年度交付額	6,382,315円
令和5年度交付額	

【交付対象事業の概要】

【まちづくり拠点施設運営によるにぎわいの創出と地域の担い手育成】

○自分のやりたいことが実現できるチャレンジショップ「本町BASE」の整備、活用、サポートメンバーの拡大と(株)油津応援団 木藤 亮太氏や関市の産業支援アドバイザーを担う関市ビジネスサポートセンターとの連携

(チャレンジショップ運営)

- ・シェアキッチンや飲食・物販ができるチャレンジショップスペースを備えた交流の場づくりで起業支援と人の交流を創出
- ・本町BASEの運営は、油津商店街を再生させた木藤 亮太氏にアドバイスを求め、応援の連鎖を拡大
- ・チャレンジショップ出店者には、関市ビジネスサポートセンターが伴走し、経営アドバイスやチャレンジショップの販売成果の検証と改善案を提示するなどの起業へのサポート体制を構築

【関東圏から応援の連鎖づくり】

○関係人口づくりによるサポーター獲得

(都市圏におけるセミナーの開催)

- ・都市圏在住の人々に、当市が連携協定を締結している(株)リトルクリエイティブセンター所有の「岐阜ホール」にてセミナーを開催する。
古来より関市に伝わる日本刀文化や自然など関市の特色によるファンづくり
- ・オンラインによる特産品生産者との交流、チャレンジショップと関わることで応援したいと思ってもらえるサポーターづくり

【魅力に触れる交流の場づくり】

○ポータルサイトの活用やワーキングホリデーの推進

(ふるさとワーキングホリデー実施事業)

- ・ポータルサイトによる魅力発信や鶴飼やキャンプ場でのワーキングホリデーの推進
- ・関市の魅力を知り尽くしたワーキングホリデー参加者による関市体験ツアーの創出など一過性にならない関係づくりと交流を促す。

事業名	No.	KPIの名称	担当課	KPIの対象	策定当初	区分	R3年度 実数	R3年度までの進捗・課題・ 解決策	R4年度 実数	R4年度までの進 捗・課題・解決策	R5年度 実数	KPI達成・未達成の 状況
健康事業と観光 の一体化による 元気なまちづく り	1	チャレンジショップ出 店者のうち、市内に起 業(出店)した人	都市計画課	関市	0人	目標	2人	チャレンジショップへの出 店希望者が多く、目標達成 につながっている。	3人	目標を上回る市内 新規出店者がある 状況である。	3人	
						実績	3人		5人			
	2	チャレンジショップ出 店者人数	都市計画課	関市	0人	目標	30人	チャレンジショップの積極 的な情報発信により、目標 を上回る出店希望者があ り、賑わいづくりにも貢献 している。	40人	目標を上回る出店 希望者があり、賑わ いづくりにも貢献し ている。	60人	
						実績	191人		199人			
	3	関市のサポーター登 録者数	企画広報課	関市	0人	目標	10人	コロナ禍により、ワーキン グホリデーの実施を次年 度以降に延期した。	15人	ワーキングホリデー やオンラインによる 特産品生産者との 交流会を実施した。	25人	
						実績	5人		30人			